

青森県水道広域化推進プランに基づく検討状況(西北地区)

構成市町村名

五所川原市、鱈ヶ沢町、深浦町、鶴田町、中泊町
津軽広域水道企業団（西北事業部）

1. 地区会議の開催状況

年度	開催回数：計5回
令和6年度	6月20日、9月30日、11月14日、12月16日
令和7年度	1月22日

2. 検討結果

取組項目	令和7年度までの実績	令和8年度以降の予定
(1) 事務の広域的処理	【業務等の共同発注】水質検査業務、監視業務及び警備業務等の共同発注について検討を進めてきたが、経費削減等の費用対効果が見込めないという一旦の結論が出ている。今後の経営一体化・事業統合の方向性を踏まえながら検討していくことを共通認識とし、情報の収集及び共有を継続することを確認した。	
	【システムの共同化】企業会計、水道料金及び水道施設・管路台帳システム等の共同化について、各ベンダから見積を徴取し検討したが、イニシャルコストが高いなど、現段階では難しいという一旦の結論が出ている。令和7年度は水道標準プラットフォームの導入について検討したが、西北地区構成市町が契約しているベンダのうち数社しかプラットフォームに参画しておらず、全社が参画しない限り進展しないため、現時点では導入が困難であると判断した。引き続き、情報の収集及び共有を継続することを確認した。	
(2) 施設の共同設置・共同利用	五所川原市の川倉取水場・配水場と、中泊町の深郷田浄水場・配水池をはじめ、地区会議において検討が可能・必要とされた施設を対象に検討を進めてきたが、いずれの施設でも給水量が不足しており、共同設置・共同利用するのは現段階では難しいという一旦の結論が出ている。今後の水需要予測や物価（建設費用等）の変動を踏まえながら、情報の収集及び共有を継続することを確認した。	
(3) 経営の一体化	経営の一体化・事業統合について、上記（1）及び（2）の各項目を踏まえながら検討したが、現段階では難しいという一旦の結論が出ている。	
(4) 事業統合	引き続き他事業体の事例等について情報収集するとともに、交付金の動向や下水道事業における広域化の動向等を注視し、総合的な観点から情報を共有することを確認した。	